

【水稻の生育調査を行っています】

<令和 8 年8月3日>

作物科では、水稻の生育調査を毎年同じ時期に 10 日間隔で行っています。この調査は、今年の稲の生育状態を知ることを目的に行っており、平年の値と比べて、生育の良否を判断する大切な指標となります。

写真は、移植後 49 日の茎数(稲の茎の本数)を数えている様子です。茎数を数えるためには、田んぼの地面近くに顔を寄せる必要があるため、この姿勢を保つことは、慣れるまでとても大変です。一人ひとりが自身に合う一番楽な体勢を探して、日々の調査に取り組んでいます。

生育調査は、稲の生育状態を数値化するだけでなく、直接稲に触れて成長を感じることも出来る大切な機会です。これからの稲の成長が楽しみです。(YY)



写真1 生育調査の様子



写真 2 茎数を数える手元

*生育調査のデータは以下の QR コードからご覧いただけます。

